

### ①－３ 円滑かつ迅速な避難に資する施設等の整備に関する事項

①－３－ア 危機管理型水位計、河川監視用カメラの整備

①－３－イ 危機管理型ハード対策の実施

①－３－ウ 河川防災ステーション等の整備

①－３－エ 避難場所、避難経路の整備



# ①-3-イ 危機管理型ハード対策の実施

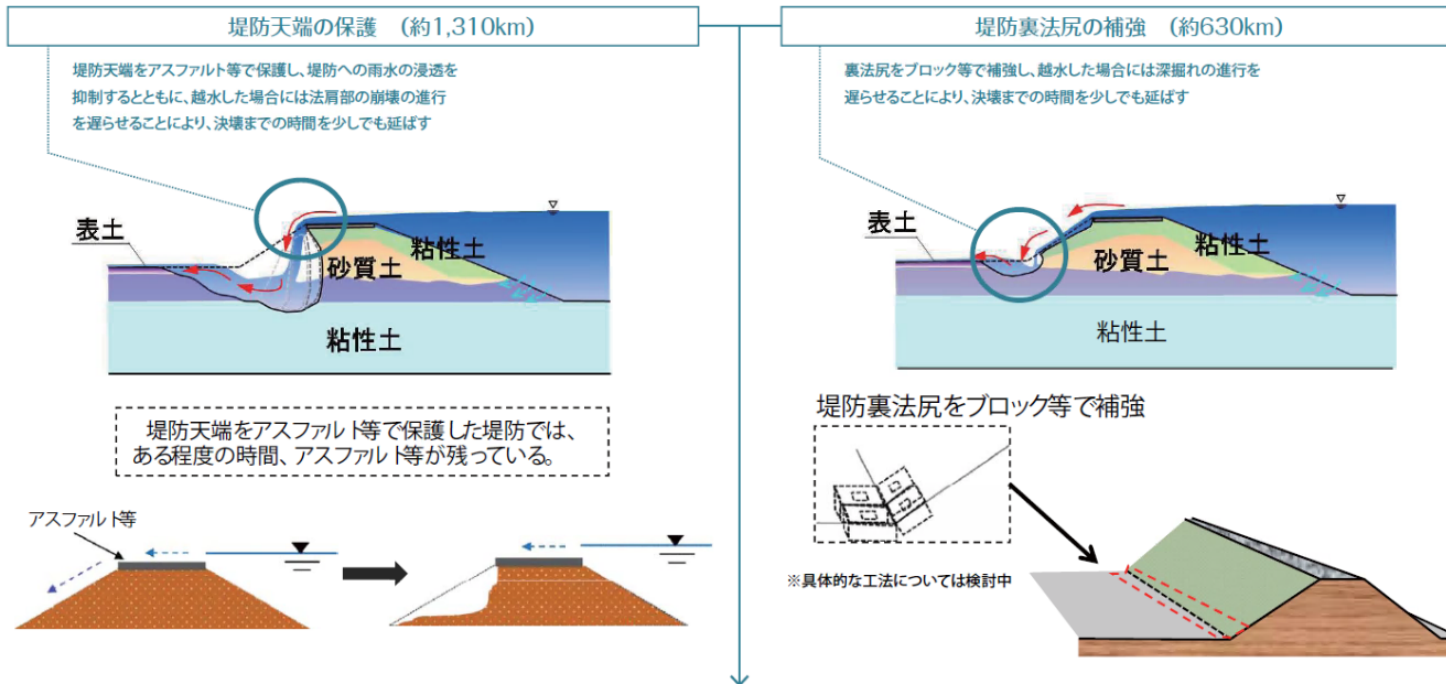
【課題】 築堤区間において越水時に破堤するおそれがある区間がある。  
 【主な取組】 越水時に破堤するまでの時間を稼ぐ目的で危機管理型ハード対策を実施する。  
 その区間については、堤防点検や河川巡視を行い、必要に応じて順次実施する。

## 危機管理型ハード対策

### ポイント

もし、堤防から水があふれてしまった場合でも、堤防が壊れてしまうまでの時間を少しでも引き延ばす工夫をします

氾濫リスクが高いにも関わらず、当面の間、上下流バランス等の観点から堤防整備に至らない区間など約1,800kmについて、決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう、堤防補強を工夫する対策を平成32年度を目途に、今後概ね5年間で実施します。  
 ●今後概ね5年間で対策を実施する区間延長一覧



対策を実施する区間L=約1,800km ※各対策の延長は重複あり

国土交通省HPより

### ①-3-ウ 河川防災ステーション等の整備

【現状】 水防倉庫の情報を共有し水防活動を実施している。  
【主な取組】 必要に応じて設置検討を行うが、現状では整備予定なし。

### ①-3-エ 避難場所、避難経路の整備

【主な取組】 必要に応じて設置検討を行うが、現状では整備予定なし。

## ②的確な水防活動のための取組

### ②-1 水防活動の効率化及び水防体制の強化に関する事項

②-1-ア 重要水防箇所の確認

②-1-イ 水防資機材の整備等

②-1-ウ 水防訓練の充実

②-1-エ 水防に関する広報の充実

②-1-オ 消防団間での連携、協力に関する検討

## ②-1-ア 重要水防箇所の確認

【現状】 県内319河川1,340km（片岸距離）を重要水防区域に位置づけている。  
水防計画に位置づけ、毎年確認を行っている。

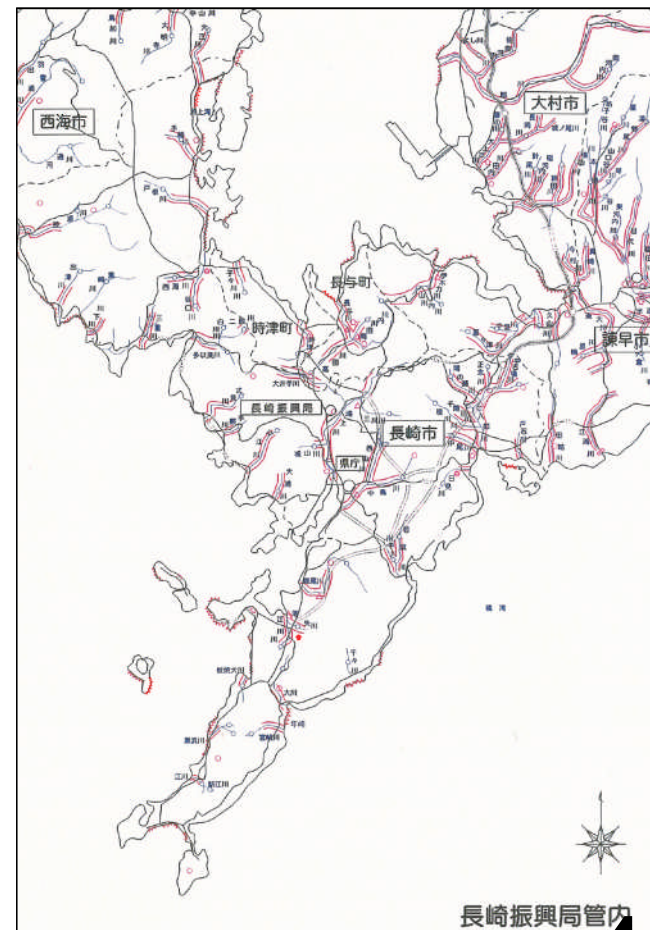
【課題】 重要水防区域の範囲が広いため、確認に時間を要している。

【主な取組】 毎年出水期前に主な重要水防区域及び冠水箇所などを必要に応じて現地巡視、確認を行っている。

### <重要水防区域採択基準>

- 1 既往水害で被災した未復旧の箇所
- 2 未改修河川で過去に越水、浸食した箇所
- 3 既設堤防護岸が低く時間雨量60mm程度で浸水、越水の予想される箇所
- 4 土石流の顕著な河川で河床埋没のため、破壊要素の強い箇所
- 5 水衝部であって洪水時急激に基礎部が洗掘され、破壊崩壊要素の強い箇所
- 6 河川沿いの重要道路が被災すれば交通上重大な支障をもたらすことが予想される箇所
- 7 改修済であるが、異常埋塞等により甚だしく河積が縮小されている箇所又は、宅地開発等により状況変化の著しい箇所

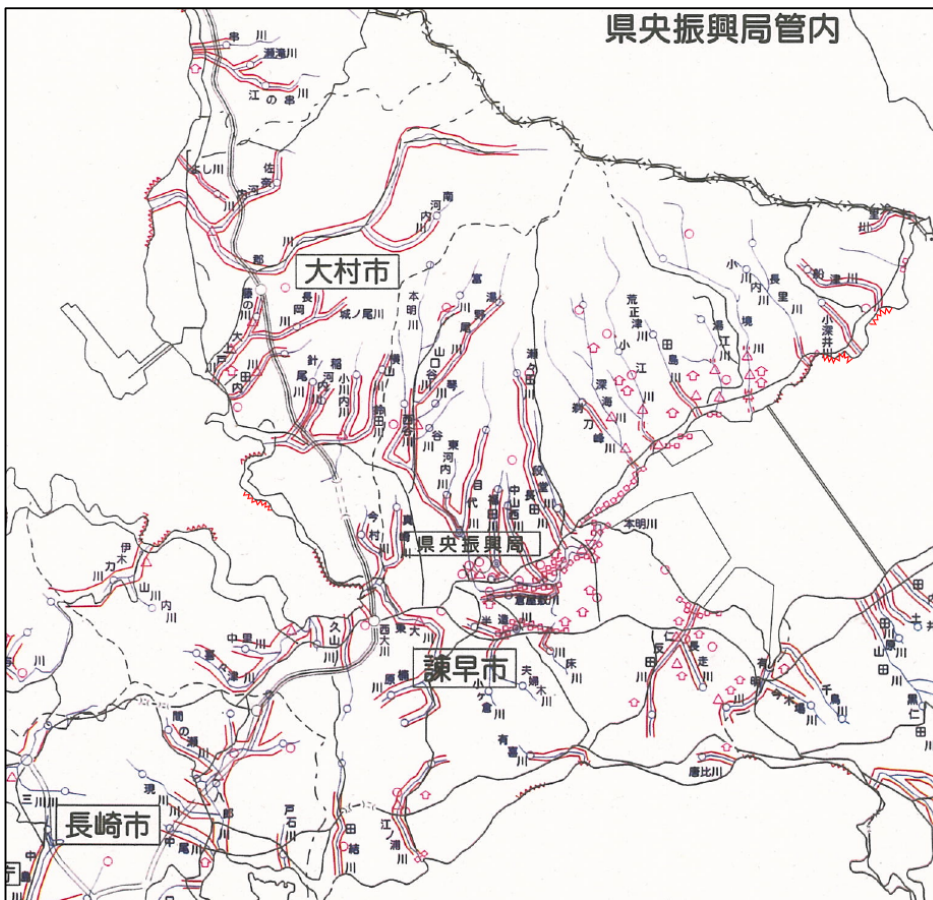
水防管理団体名	水系名	河川名	重要水防区域		予想される事態	対策水防工法	予想される被害状況: A家屋戸、B耕地ha、C道路m、D鉄道m			区分	番号		
			区	域			延長(m)	延長(m)	A			B	C
長崎市	浦上川	浦上川	右	三ツ山町970番8地先 ~ 海	7,030	溢水	積土のう工	A	600	B	1	二級河川	1
			左	川平町125番16地先 ~ 海	7,030	決壊	C	4,000					
長崎市	浦上川	城山川	右	花園町2400番3地先 ~ 浦上川合流点	970	溢水	積土のう工	A	300			二級河川	2
			左	金堀町422番地先 ~ 浦上川合流点	970	決壊	C	900					
長崎市	浦上川	大井手川	右	滑石4丁目494番2地先 ~ 浦上水源地上先	1,250	溢水	積土のう工	A	80			二級河川	3
			左	滑石4丁目1592番1地先 ~ 浦上水源地上先	1,250	決壊	C	1,600					
長崎市	浦上川	三川川	右	三川町327番1地先 ~ 浦上川合流点	2,600	溢水	積土のう工	A	200			二級河川	4
			左	三川町453番地先 ~ 浦上川合流点	2,600	決壊	C	2,000					
長崎市	中島川	中島川	右	本河内町2688番 ~ 海	3,200	溢水	積土のう工	A	4,900			二級河川	5
			左	本河内町市営アパート裏 ~ 海	3,200	決壊	C	5,000					
長崎市	中島川	西山川	右	西山三丁目(高部浄水場跡) ~ 中島川合流点	2,000	溢水	積土のう工	A	180			二級河川	6
			左	片瀬五丁目22番地先 ~ 中島川合流点	2,000	決壊	C	900					
長崎市	八郎川	八郎川	右	古賀町2472番地先 ~ 海	4,000	溢水	積土のう工	A	800	B	10	二級河川	7
			左	古賀町404番地先 ~ 海	4,000	決壊	C	4,500					



## ②-1-イ 水防資機材の整備等

【現状】 県13箇所、市町94箇所に土のう袋約250,000袋などを水防資機材を整備し、水害に備えている。

【主な取組】 毎年出水期前に水防倉庫に備蓄されている資機材の確認を行い、水防計画に記載、情報共有を図っている。



市町村水防倉庫設置箇所一覧表

所管名	河川名 (海岸名)	管理者	責任者	所在地
長崎市	浦上川	長崎市長	長崎市長	長崎市稲佐町3-35
長与町	長与川	長与町長	長与町長	長与町嬉里郷636-1
西海市	雪浦川	西海市長	西海市長	西海市大瀬戸町雪浦下郷
"	大明寺川	"	"	西海市西彼町喰場郷
諫早市	全般	諫早市長	諫早市長	諫早市東小路町7-1
"	"	"	"	諫早市城見町26-3
"	本明川	"	"	諫早市小野島町232の一部
"	"	"	"	諫早市西里町1603-3地先
"	"	"	"	諫早市川内町503-3の一部
"	福田川	"	"	諫早市福田町2851-9地先
"	仁反田川	"	"	諫早市森山町下井牟田

備蓄内容

河川名	水防倉庫名	所在地	土のう袋 (袋)	鋼杭 (本)	ブルーシート (枚)	ロープ (m)	丸太 (本)	損失 (T)	スコップ (T)	ハンマー (T)
県中央振興局管内	県中央水防倉庫(土のう袋のみ)	諫早市貝津町1427付近	2,600	500						
全般	諫早市本部水防倉庫	高城町	3,400		60			5	100	
全般	諫早市城見町水防倉庫	城見町	7,400		240	250				
小野海岸本明川	諫早市川内町水防倉庫	川内町	2,800		10	50		5	10	
小野海岸本明川	諫早市小野島町水防倉庫	小野島町	1,800			50	120	5	5	
長田海岸本明川	諫早市西里町水防倉庫	西里町	2,000			50			8	
小野海岸本明川	諫早市川内町新地水防倉庫	川内町新地	300		20	50		5	5	

## ②-1-ウ 水防訓練の充実

【現状】 関係機関において水防訓練を実施している。

【主な取組】 水防訓練や防災訓練の一部として土のう作りや土のう積みなどの水防工法や、河川氾濫を想定した避難訓練を実施している。



土のう作り、土のう積み訓練



釜段工訓練



土のう作り体験



避難訓練



## ②-1-エ 水防に関する広報の充実

【現状】 関係機関が必要に応じて広報活動を行っている。

【課題】 消防団員の確保が年々困難になってきており、消防団員に不足が生じてきている。

## ②-1-オ 消防団間での連携、協力に関する検討

【現状】 すべての関係機関が消防団による水防活動を実施している。  
県内658の消防団分団による水防活動が実施されており、分団間の連携も図られている。

消防団（分団）一覧表

市町	消防団分団数	市町	消防団分団数	市町	消防団分団数
長崎市	70	対馬市	58	時津町	10
佐世保市	60	壱岐市	32	東彼杵町	8
島原市	24	五島市	30	川棚町	7
諫早市	76	西海市	57	波佐見町	9
大村市	15	雲仙市	64	佐々町	7
平戸市	30	南島原市	8	新上五島町	56
松浦市	27	長与町	10	計	658

## ②-2 市町庁舎や災害拠点病院等の自衛水防の推進に係る項目

②-2-ア 災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達

②-2-イ 洪水時の市町庁舎等の機能確保のための対策の  
充実

②-2-ウ 大規模工場等の自衛水防に係る取組の推進

## ②-2-ア 災害拠点病院等の施設管理者への情報伝達の充実

【現状】 9市町で13の医療機関が災害拠点病院として指定されており、そのうち1施設（諫早総合病院）が浸水想定区域内にある。

【課題】 河川周辺に施設があるものの水位周知河川や浸水想定区域図が作成されていない。災害拠点病院等へ河川水位や避難情報などの情報伝達方法が決まっていない。

【主な取組】 平成33年度までに20市町27河川で水位周知河川の指定、浸水想定区域図の作成を行い情報提供を行う。  
災害拠点病院への情報伝達方法の検討が必要。

## ②-2-イ 洪水時の市町村庁舎等の機能確保のための対策の充実

【現状】 9市13河川の浸水想定区域情報は周知済み。

4市庁舎が浸水想定区域内にあり、それぞれの市町で非常用電源の整備や防災システム等の上層階への移設等の対策を実施している。

【課題】 河川周辺に庁舎があるものの水位周知河川や浸水想定区域図が作成されていない市町がある。

県央振興局が浸水想定区域内にあるため機能確保のための対策検討が必要。

【主な取組】 平成33年度までに20市町27河川で水位周知河川の指定、浸水想定区域図の作成を行い情報提供を行う。

浸水想定区域内に庁舎がある関係機関については、機能確保のための対策について検討を行う。

## ②-2-ウ 大規模工場等の自衛水防に係る取組の推進

【現状】 浸水想定区域内の大規模工場について、地域防災計画への記載はなされていない。

【主な取組】 浸水想定区域図作成後速やかにハザードマップを作成し大規模工場等への情報提供を行う。

### ③氾濫水の排水、浸水被害軽減に関する取組

- ③ーア 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等
- ③ーイ 浸水被害軽減区域の指定

### ③ーア 排水施設、排水資機材の運用方法の改善及び排水施設の整備等

【現状】 国や5市町がポンプ場や排水ポンプ車を所有している。

【課題】 多くの自治体が排水に必要な機材を有しておらず、浸水時の最適な排水計画について、国・県・市など関係機関間で事前に準備しておく必要がある。

大規模災害時には、排水機材の不足により浸水時間の長期化のおそれがある。

【主な取組】 それぞれの機関で定期的に保守点検を行い排水機能の確保を保っている。  
協議会の中で情報を共有し水害発生の際必要に応じて応援要請などを行う。

### ③ーイ 浸水被害軽減区域の指定

【現状】 浸水被害軽減区域の指定なし。

【主な取組】 浸水被害軽減地区の検討に必要な地形データや氾濫シミュレーションデータを提供。

水防管理者は必要に応じて浸水被害軽減区域の指定について検討を行う。

## ④その他

④ーア 災害時及び災害復旧に対する支援強化

④ーイ 災害情報の共有体制の強化

#### ④ーア 災害時及び災害復旧に対する支援強化

【主な取組】長崎地方気象台による、台風説明会の実施、災害対策本部への職員派遣・駐在。  
災害支援資料等の提供。  
大規模災害時にTEC-FORCEなどの派遣依頼。

#### ③ーイ 災害情報の共有体制の強化

【課題】災害情報をリアルタイムで情報共有できていない。  
【主な取組】県HP防災ポータルによる災害情報の掲出。  
災害情報収集・共有方法の検討。



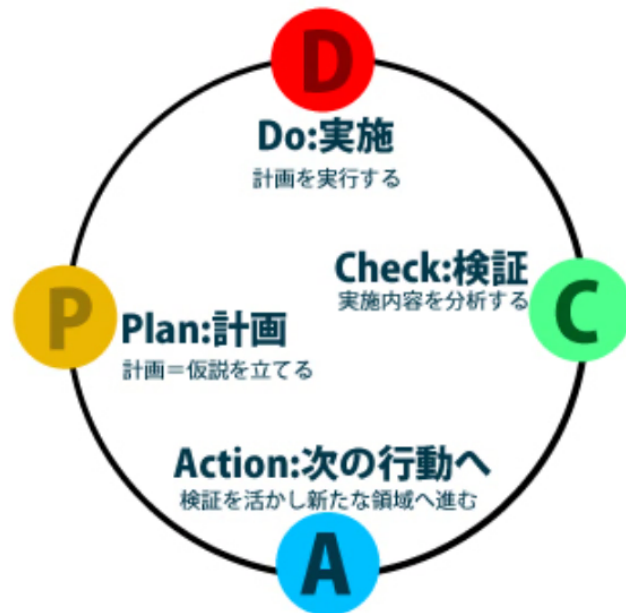
## 4) 協議会の今後の進め方について

## 協議会の今後の進め方

各関係機関の取組については、必要に応じて防災業務計画や地域防災計画等に反映することなどによって責任を明確にし、組織的、計画的、継続的に取り組むこととする。

毎年出水期前に協議会、幹事会を開催し、取組の進捗状況を確認し、必要に応じて取組内容を見直すこととする。また、実施した取組についても訓練等を通じ、習熟、改善を図るなど、継続的にフォローアップを行うこととする。

なお、今後全国で作成される他の取組方針の内容や技術開発の動向等を収集したうえで、必要に応じ、取組項目を見直すこととする。



開催日(予定)	内容	
H29.2.6	協議会準備会	
H29.5.23	第1回幹事会	・第1回協議会に向けた意見交換、資料確認
H29.6.5	第1回協議会	・規約の確認 ・長崎県管理河川の現状、取組状況について ・今後の取組目標について
H30.3.5	第2回幹事会	・第2回協議会に向けた意見交換、資料確認
H30.3.23(予定)	第2回協議会	・規約の改定について ・減災に係る取組について
H30.5(予定)	第3回幹事会	
H30.6(予定)	第3回協議会	・H29実施状況、H30実施予定について ・情報伝達網の確認